



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 685 号

令和 2 年 11 月 20 日 編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954 番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 大 橋 邦 啓

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

令和 2 年度集合狂犬病予防注射実施者講習会 について……………	1
埼玉県獣医師会主催ボウリング大会の開催中 止について……………	1
第64回埼玉県公衆衛生大会開催される……	2
狂犬病予防法に基づく犬の予防注射の推進に ついて (産経新聞) ……………	3

会務報告

第 2 回獣医事調査委員会……………	4
第 4 回理事会……………	4
厚生委員会(書面協議)……………	5
狂犬病予防委員会(書面協議)……………	5

新入会員報告

新入会員紹介……………	6
-------------	---

予告

西支部学術講習会(Web開催)のお知らせ…	7
-----------------------	---

お知らせ

獣医師法第22条の規程に基づく届出につい て……………	8
第17回日本獣医内科学アカデミー学術大会参 加者に対する助成金交付について……………	10
テレビ埼玉で放映予定-高橋会長新春年頭 挨拶- ……………	10
埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ…	11
日本獣医師会からのお知らせ……………	12
新型コロナウイルス関連のお知らせ……………	17

埼玉県獣医師会学術広報版 ……………	22
--------------------	----

事務局より

日本獣医師会酒井顧問が瑞宝重光章を受賞…	23
事務局メモ……………	23

編集後記……………	24
-----------	----

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和2年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の開催について

狂犬病予防委員会 委員長 渋谷 正志

集合狂犬病予防注射の的確な実施に向け、「埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領」及び「同細部要領」に基づき、例年「集合狂犬病予防注射実施者講習会」を開催しています。

しかし、新型コロナウイルスの感染状況から、この度開催された第4回理事会においてその開催方法が検討され、郵送により資料を送付して読んでいただくことにより、講習会の開催に代えることが望ましいとの結果になりました。

このため、狂犬病予防委員会の書面協議を実施し、令和2年度の集合狂犬病予防注射実施者講習会について、実際に集まることなく、資料を送付することによる代替え方法について各委員に協議したところ、委員全員の賛成により、今年度は資料の送付により講習会の開催に代えることとすることを決定しました。

なお、送付資料につきましてはこれから作成することになりますので、発送までは今しばらく時間がかかりますので、ご承知おきください。

令和2年度埼玉県獣医師会主催ボウリング大会の開催中止について

厚生委員会 委員長 別部 博司

ボウリング大会につきましては、会員及びその関係者相互の親睦と健康の増進を目的として、ボウリング同好会の協力を得て、例年2月に開催しているところですが、この度開催された第4回理事会において、令和2年度ボウリング大会の開催について協議したところ、新型コロナウイルス感染症の発生状況から開催中止とすることが望ましいとの結果になりました。

このため、今年度のボウリング大会の開催中止につきまして、厚生委員会の書面協議として各委員に協議をしたところ、委員全員の賛成により今年度の開催を中止することに決定しました。

まことに残念ですがご了承いただきますようお願いいたします。

第64回埼玉県公衆衛生大会開催される

令和2年11月9日（月）午後2時から、さいたま市の埼玉会館小ホールにおいて、第64回埼玉県公衆衛生大会が開催され、本会の5名の先生方が「公衆衛生事業功労者」として埼玉県知事表彰を受賞されました。

当日は、主催者の大野元裕埼玉県知事の御挨拶に続いて、公衆衛生事業功労者や功労団体などの受賞者が紹介され、受賞者代表に知事から表彰状が授与されました。

来賓の田村琢実埼玉県議会議長並びに金井忠男埼玉県医師会会長が祝辞を述べられた後、高橋三男埼玉県獣医師会会長をはじめ保健医療関係団体の会長が紹介されました。

式典終了後、知事や来賓を囲んでの記念撮影が行われ、午後3時に閉会しました。

本年度受賞の栄に浴された埼玉県獣医師会会員の先生方は次のとおりです。誠にありがとうございます。

公衆衛生事業功労者表彰受賞者

土谷 寛先生	さいたま市支部（さいたま市）
林 文夫先生	南支部（和光市）
市川 紀文先生	西支部（坂戸市）
三友 基雄先生	北支部（本庄市）
宮澤 真登先生	東支部（羽生市）



左から 高橋三男会長、宮澤真登先生（東支部）
市川紀文先生（西支部）



前列左から 5人において高橋三男会長、大野元裕知事、田村琢実議会議長
中列左から 4人において宮澤真登先生（東支部）、後列右から 2人において市川紀文先生（西支部）

「狂犬病の予防接種率低下」産経新聞

11月11日（水）、産経新聞朝刊、埼玉版に「狂犬病の予防接種率低下 コロナ余波 危機管理薄れも遠因か」の見出しで、接種率の低下を憂慮する記事が掲載されました。記事の締めくくりとして、当会高橋三男会長の「県や市町村と連携し、会を挙げて対策に取り組んでいきたい」とのコメントが載っています。

なお、この記事につきましては、各市町村の狂犬病予防注射担当者に情報提供しています。

＜第三郵便物認可＞

埼玉

SAITAMA



さいたま総局
〒330-0063
さいたま市浦和区
高砂1-2-1
電話 048-829-2311(代)
FAX 048-830-1091
saitama@sankai.co.jp
広告 048-834-1211

購読申し込み
0120-70-3034
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
0570-046460
Web
<http://www.sankai.com/region/region.html>

(12日)
旧9月27日
【大安】



あすの天気

月齢	26.3
日出	6:16
日入	16:37
月出	2:17
月入	14:55
満潮	2:26
干潮	14:52
満潮	8:31
干潮	21:17
中潮	(東京)

狂犬病の予防接種率低下

コロナ余波 危機感薄れも遠因か

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市町村が公民館などで開催する狂犬病の集合予防接種が相次いで中止され、接種率の低下を招いている。県によると、4～8月の県内の接種率は前年同期比6・8ポイント減の53・5%にとどまった。国内で人が狂犬病に感染した例は昭和31年を最後に見つかっていないが、輸入された動物を経由するなどして発生する可能性は否定できず、県や市町村は動物病院などでの接種を呼びかけている。

(竹之内秀介)

狂犬病はウイルスに感染した犬にかまれるなどして発症する感染症で、ワクチン接種すれば予防できる一方、発症時の致死率はほぼ100%とされる。狂犬病予防法は犬の飼い主に対し、年1回、原則として4～6月に予防接種を受けさせるよう義務づけており、例年はこの期間、市町村が集合予防接種を実施している。ところが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言の発令

犬の飼い主の皆様へ

今年も狂犬病予防注射

お済みですか？

犬の飼い主は、狂犬病予防法により、飼っている犬に、毎年1回、狂犬病予防注射（お1回）を接種させる必要があります。

狂犬病予防注射は、動物の感染症に予防効果があり、狂犬病の発生を抑えるのに役立ちます。狂犬病は、人から人に感染することはありません。

狂犬病予防注射は、動物の健康に悪影響を及ぼすことはありません。

狂犬病予防注射は、動物の健康に悪影響を及ぼすことはありません。

狂犬病の予防接種率低下を受け
て作製したポスター（県提供）

新型コロナウイルス
埼玉県の電話相談窓口

☎0570-783-770

24時間対応

期間とも重なり、自治体が中止を決めたり、飼い主が外出を自粛して接種を見送るケースが相次いだ。狂犬病に対する飼い主の危機感の薄れも接種率低下の遠因になっているとみられる。

県生活衛生課の担当者によると「接種しなくても大丈夫だろう」という油断が一部の飼い主にある」と懸念する。

長は「接種率の落ち込みは危機感を持っていて。県や市町村と連携し、会を挙げて対策に取り組んでいきたい」と語った。

会 務 報 告

第2回 獣医事調査委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年9月30日付けで各委任あての書面により次の事項を協議した。

協議事項

新入・転入会員の審査について

入会申込書が提出されている開業部会2名（内1名は転入）、衛生支部3名、農林支部1名、団体支部6名（衛生支部3名、農林支部1名については第2回理事会で承認済み）の入会・転入について審査し、全て適正と認め、理事会に付議することとなった。

第4回 理事会

令和2年10月28日（水）午後1時30分から、さいたま市「清水園」において、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、三密を避けた配席で開催し、次の事項を審議した。

1 会長挨拶

新型コロナウイルスという世界にまたがる大きな問題により、政治から経済、教育まですべてが変則的になる異常事態となっている。これから来年に向かって今後の獣医師会がどうあるべきか。非常に舵取りのむずかしい時期を迎える。限られた時間ですが、ピンチをチャンスとすべく、役員の皆様には情熱的なチャレンジ精神を持って知恵を出していただくことを望んでいますのでよろしくお願いします。

2 報告事項

(1) 前理事会後開催された委員会等に関する件

ア 第1回厚生委員会（書面協議）

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、ソフトボール大会を中止することを協議した。（7月15日）

イ 埼玉県獣医師会主催学術講習会（Web講習会）

今後の各支部学術講習会のWeb開催に向け、学術委員会の企画により開催した。（9月27日）

ウ 第2回獣医事調査委員会（書面協議）

新入会員の審査について協議した。（9月30日）

(2) 業務執行理事職務執行状況に関する件

業務執行理事からそれぞれの職務について執行状況が報告された。

(3) その他

日本獣医師会学会年次大会は今年度の開催は中止となり、令和3年度については令和4年1月21日（金）～23日（日）に神戸国際会議場で開催されることが報告された。

3 決議事項

第1号議案 令和2年度新入・転入会員の承認に関する件

入会・転入の申込（開業部会2名（内1名は転入）、勤務部会6名（団体支部））について審査の上、承認した。

第2号議案 令和元年度傷病野生鳥獣治療業務等経費の配分承認に関する件

令和元年度傷病野生鳥獣治療業務及びアライグマ処分業務に係る委託費について、指定診療施設ごとの配分額を承認した。なお、傷病野生鳥獣治療業務については、本年2月に開催された開業部会第2運営委委員会で検討され、3月に開催された第6回理事会で承認された新配分に基づく診療費に重点を置いた配分となった。

4 協議事項

(1) 令和2年度集合狂犬病予防注射実施者講習会開催に関する件

令和2年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の開催方法について協議し、新型コロナウイルス感染症の発生状況から開業会員の大多数が一同に会することは望ましくないため、関係資料を送付し、各自が内容を確認していただくことで開催に代えることが望ましいとされ、狂犬病予防委員会で協議し決定することとされた。

(2) その他

ア ボウリング大会について

新型コロナウイルスの感染状況から今年度の開催を見合わせることを望ましいとされ、厚生委員会で協議して決定することとされた。

イ Zoomの契約について

今後、本会や支部の会議・打合せ及び支部講習会などのWeb開催で利用するため、事務局が一括してZoomの契約をすることが決定された。

ウ 獣医内科学アカデミー学術大会について、今年度はオンラインでの開催が予定されているが、例年どおり参加者に対し、開業会員限定で5,000円を助成することが決定された。

厚生委員会（書面協議）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年11月4日付けで各委任あての書面により次の事項を協議した。

協議事項

令和2年度ボウリング大会の開催中止について

新型コロナウイルス感染症の発生状況から、令和2年度のボウリング大会は開催中止とすることが決定された。

狂犬病予防委員会（書面協議）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年11月4日付けで各委任あての書面により次の事項を協議した。

協議事項

令和2年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の実施方法について

新型コロナウイルス感染症の発生状況から、令和2年度の集合狂犬病予防注射実施者講習会については、資料を送付することにより講習会の開催に代えることとすることが決定された。

新入会員報告

新 入 会 員



みなみかわ けいた
南川 慶太
さいたま市支部



ほのべ
保延 めぐみ
北支部

開業部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
さいたま市	南 川 慶 太	さいたま市・常盤どうぶつ病院
北	保 延 めぐみ	上里町・保延牧場診療所

広告

Allerimmuné

《世界初》
犬アトピー性皮膚炎治療は次世代へ。



動物用医薬品 劇 要指示

アレルミューン® HDM

アレルミューンHDMの特長

- 世界初、犬アトピー性皮膚炎の主要アレルゲン Der f 2抗原を使用した次世代減感作療法薬**
遺伝子組換え技術を用いて作製、精製した単一抗原に中性単糖多糖であるプルランを結合した、次世代減感作療法薬。
- 組換え型Der f 2-プルラン結合体により、有効性と安全性の向上を実現**
組換え型Der f 2にプルランを結合させることにより、IgE抗体産生抑制とIgG抗体産生増強を確認。
- 臨床試験において、高い有効性と安全性を確認**
臨床試験では臨床症状の改善が認められるとともに、アナフィラキシーショックなど重篤な副作用は観察されず、有効性及び安全性を確認。
- 簡便な投薬プログラムにより、高い利便性を実現**
週1回、計5回ないし6回投与というプロトコルで、従来の減感作療法における、頻回投与、長期治療という煩雑さを克服。



製造販売元
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

予 告

西支部学術講習会(Web開催)のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4) 小3(7))

西支部長 別部 博司

学術委員 岡田 かおり

西支部では、2020年12月6日(日)に東京大学の大野耕一先生による学術講習会をZoomを利用したWeb講習会として開催します。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

令和2年度第1回埼玉県獣医師会西支部学術講習会 オンラインセミナー

「猫特有の消化器疾患」

講師 大野耕一先生(東京大学)

日時 2020年12月6日(日) 13:30~16:00

*参加費無料、定員300名

*事前申し込み制になります。ID、パスワードは各支部学術委員または事務局までお問い合わせください

*30分前から入室、ハンドアウトのダウンロードが可能です

*質問はチャット機能を利用して受け付けます

オンラインセミナーの開催にあたって

- ・Zoomミーティングにて配信いたします、Zoomを初めてご利用される方は以下のURLから事前にダウンロードと登録をお願いいたします
(<https://zoom.us/download>)
- ・安定したネット環境でご参加ください(有線LANを推奨)
- ・参加者確認のため、アカウント名は本名をお願いいたします
- ・講習会の録画、録音はご遠慮ください
- ・生涯学習ポイントの申請をご希望の方は講習会を視聴後、事務局に直接お問い合わせください
- ・この講習会の見逃し配信は行いません

お知らせ

獣医師法第22条の規定に基づく届出について

本年は2年に一度の届出（知事を経由して農林水産大臣に届出）を行う年になっております。

届出書（獣医師法施行規則 第6号様式）につきましては、本会報（第685号）に同封されておりますので、ご活用ください。

なお、「届出書」は、令和2年12月31日現在の状況を記入し、令和3年1月1日から1月31日までの間にお住まいの都道府県に提出（郵送又は持参）する必要があります。埼玉県にお住まいの場合は、下記のとおり、直接提出していただくか、希望する会員の先生につきましては、本会事務局に1月20日（水）までに提出していただければ、事務局で取りまとめて埼玉県に提出します。

なお、住所が埼玉県以外の方は、お住まいの都道府県に提出してください。

記

- 1 提出先：〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県農林部畜産安全課家畜衛生担当あて

※注意：Eメールやファックスでの提出は受け付けできません。

持参の場合、受付は午前8時30分から午後5時15分までです。

（閉庁日（土日祝祭日）は受け付けできません。）

- 2 提出部数：3枚複写のうち、1枚目は届出者で保管し、2枚目と3枚目を提出してください。

※ 詳しくは、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html>

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

胃腸と皮膚が気になる犬に  ドクタークレド Dr. CREDO No.1 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg	血流と健康が気になる犬に  ドクタークレド Dr. CREDO No.2 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg	下部尿路が気になる成猫に  ドクターイデア Dr. IDEA No.1 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g) 400g×6パック(2.4kg)	成猫の体重管理に  ドクターイデア Dr. IDEA No.2 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g) 400g×6パック(2.4kg)
--	---	---	--

森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 千葉：043-309-8080

獣医師免許をお持ちの皆様へ

**令和2年12月31日現在の状況を、
お住まいの都道府県に届け出てください。**

- ◎ **獣医師には、獣医師法第22条に基づく
2年ごとの届出が義務付けられています。**
- ◎ **令和2年は届出が必要です。**
- ◎ **届出様式に必要事項を記入の上、
令和3年1月1日から1月31日までに、
お住まいの都道府県に提出してください。**

※届出様式や記載方法は農林水産省HP

(下記URL)に掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html>

獣医師 届出

検索



- ◆ 期日までに届出をしなかった場合、免許の取消し又は業務停止を命じられることがあります。
- ◆ 集計結果は獣医師の分布、就業状況、異動状況等を的確に把握するために利用されています。

※ 結婚等により、本籍地の都道府県名、氏名や性別が変更された場合は、
変更があった日から30日以内に、登録事項の変更申請が別途必要です。
詳細は、農林水産省HP(下記URL)に掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/menkyo.html#b>

**農林水産省 消費・安全局
畜水産安全管理課獣医事班**



第17回日本獣医内科学アカデミー学術大会参加者に 対する助成金交付について

本会では会員の獣医学術の研鑽向上に向け、標記学術大会に参加した開業支部会員を対象に「参加登録費」の一部を助成金として交付しております。

今回の学術大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催となりますが、例年どおり助成金を交付しますので、交付を希望される先生は下記により事務手続きをお願いします。

1 第17回学術大会

- (1) 開催月日 令和3年2月19日（金）～3月7日（日）
- (2) 開催方法 オンライン開催（期間中繰り返して聴講可能）。一部ライブ配信の予定もあります。
- (3) 主 催 日本獣医内科学アカデミー（J C V I M）
- (4) 参加登録 獣医師・研修医・企業 12,000円
学生・看護師 5,000円
- (5) 事前参加登録締切 令和3年1月25日（月）
オンラインによる登録となります。
(<https://www.jcvim.org/>)

2 助成金

- (1) 助成金額 1人当たり 5,000円（開業支部会員に限る。）
- (2) 助成金交付事務手続き
「参加登録費」の支払いを証する書面（下記の何れか）の写しを埼玉県獣医師会事務局まで提出して下さい。
・「登録費領収書」
・「参加登録証（E-mail）」
提出期限 令和3年3月8日（月）まで（必着）

—— テレビ埼玉で放映予定 ——

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…令和3年1月2日（土）

午前11時55分～11時59分

テレビ埼玉



畜安第689－5号

令和2年10月1日

公益社団法人埼玉県獣医師会

会長 高橋三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長

野澤 裕子（公印省略）

家畜改良増殖法の一部を改正する法律及び家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律の施行について（通知）

本県の畜産行政につきましては、日頃より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、別添のとおり令和2年10月1日付け2関生第1117号により関東農政局長から通知がありました。

つきましては、家畜改良増殖法の一部を改正する法律及び家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律の趣旨及び内容について御承知おきいただくとともに、貴会会員に対し御周知いただきますようお願いいたします。

※別添省略

畜安第690－5号

令和2年10月1日

公益社団法人埼玉県獣医師会

会長 高橋三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長

野澤 裕子（公印省略）

家畜改良増殖法の一部を改正する法律及び家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律の運用について（通知）

本県の畜産行政につきましては、日頃より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、別添のとおり令和2年10月1日付け2関生第1118号により関東農政局生産部長から通知がありました。

つきましては、このことについて御承知おきいただくとともに、家畜改良増殖法の一部を改正する法律及び家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律の適正かつ円滑な運用について貴会会員への御周知をお願いします。

※別添省略

畜安第748－3号
令和2年11月4日

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 高橋三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長
野澤 裕子（公印省略）

動物検疫措置に関する畜産農家等への注意喚起について（通知）

日頃、家畜防疫の推進に御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。

家畜伝染病予防法の一部改正（令和2年4月3日公布・7月1日施行）に伴い、農林水産省動物検疫所の家畜防疫官に入国者の携帯品中の畜産物の有無について質問する権限、検査する権限及び発見された違反畜産物を廃棄する権限が付与されました。

これにより現在、海外悪性伝染病等のウイルスの国内侵入防止に向けた水際対策が強化されています。

そのような中、本年8月31日、フィリピンからの旅客により持ち込まれた豚肉製品（ソーセージ）から、感染性のあるアフリカ豚熱のウイルスが分離されたため、別添のとおり農林水産省消費・安全局動物衛生課長（令和2年10月23日付け2消安第3235号）より、畜産農家等への注意喚起について、通知がありました。

つきましては、会員の皆様に周知していただくとともに、適切な飼養衛生管理のための指導に御理解、御協力賜りますよう、お願い申し上げます。

※別添省略

2日獣発第151号
令和2年10月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
（公印及び契印の押印は省略）

令和2年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の徹底について

このことについて、令和2年9月24日付け2消安第2700号をもって、農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、飼養衛生管理基準の遵守による本病の防疫対策の徹底と、定点モニタリング及び強化モニタリングの検査対象農場の選定等について協力依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2日獣発第154号

令和2年10月16日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

家畜の飼養に係る衛生管理の状況等に関する各種様式について

このことについて、令和2年9月29日付け2消安第2846号をもって、農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、家畜の飼養に係る衛生管理の状況等に関する各種様式について定めることとし、生産現場において飼養衛生管理指導等指針、飼養衛生管理指導等計画及び、別添の通知を総合的に活用することで、効率的に現場指導を実践するよう都道府県に通知したことについて周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

広告



株式会社 **アスコ**
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

営業所 所在地

- ・ 東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮、宮城、福島
- ・ 中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・ 西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

2日獣発第168号

令和2年10月23日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

家畜改良増殖法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係局長通知の一部改正について

このことについて、令和2年9月30日付け2生畜第1121号をもって、農林水産省生産局長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、下記の関係通知が一部改正され、本年10月1日より施行される旨の周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

記

- 1 家畜改良増殖法の一部を改正する法律の運用について（平成4年11月19日付け4畜A第2650号農林水産省畜産局長通知）
- 2 家畜人工授精に関する講習会、家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会並びに家畜人工授精並びに家畜体内受精卵移植及び家畜体外受精卵移植に関する講習会の運営等について（平成4年11月19日付け4畜A第2651号農林水産省畜産局長通知）
- 3 牛及び豚のうち純粋種の繁殖用のもの並びに無税を適用する馬の証明書の発給等に関する事務取扱要領（平成7年3月20日付け7畜A第512号農林水産省畜産局長通知）

※別添省略

2日獣発第169号

令和2年10月23日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

家畜改良増殖法の一部を改正する法律及び家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律の施行について

このことについて、令和2年9月30日付け2生畜第1104号をもって、農林水産省生産局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、第201回国会において標記の法律が成立し、本年10月1日に施行されるに当たり、別添のとおり都道府県に対し通知された内容を周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2日獣発第170号

令和2年10月23日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

家畜改良増殖法の一部を改正する法律及び家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律の運用について

このことについて、令和2年9月30日付け2生畜第1105号をもって、農林水産省生産局畜産部畜産振興課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、標記の法律が本年10月1日に施行されるに当たり、制度の適正かつ円滑な運用を図るため、別添のとおり都道府県に対し内容（細部）に関する通知がなされたことを周知するものです。つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2日獣発第181号

令和2年11月16日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の一部改正について

このことについて、令和2年10月22日付け2消安第2974号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、標記の省令（昭和51年農林省令第35号）の一部改正が令和2年10月22日に公布・施行されたことに伴い、下記の内容について周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

記

- 1 サリノマイシンナトリウムについて、省令別表第2の8のサリノマイシンナトリウム（その2）における、製造用原体（その2）を用いる製剤の成分の規格について、製剤1mg中の力価の上限を200 μ g力価とし、規格・基準を設定したこと。
- 2 サリノマイシンナトリウムを含む飼料及び飼料添加物を製造する飼料製造業者は、サリノマイシン含量の規格を確認し、省令別表第1の1の(1)の表に定める添加量を逸脱した飼料を製造しないこと。加えて、飼料添加物の製造業者は、表示の遵守及び販売先への注意喚起をすること。

※別添省略

2日獣発第182号

令和2年11月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

薬剤耐性対策推進月間（11月）における取組について（お知らせ）

このことについて、令和2年11月2日付け2消安第3178号をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長から別添のとおり通知がありました。

平成28年4月に策定された「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」に基づき、毎年11月が「薬剤耐性対策推進月間」（以下「推進月間」という。）に位置づけられています。このたびの通知は、推進月間における農林水産省の新たな取組として、農林水産省公式Twitterにて抗菌薬の使用等薬剤耐性対策に関する情報発信が開始される旨の周知を依頼されたものです。また、「第12回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの成果と次期の展望」（詳細は日本獣医師会ホームページのトピックス欄をご確認ください。）につきましても積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2日獣発第186号

令和2年11月18日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

北海道で採取された野鳥の糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された事例に伴う防疫対策の再徹底について

このことについて、令和2年10月30日付け2消安第3417号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、北海道で採取された野鳥の糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が検出されたことを受けて、家きん飼養者、獣医師等の畜産関係者に対し、飼養衛生管理基準の遵守及び異常家きんの早期発見・早期通報の徹底について指導又は助言をするよう周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2020/10/27 (火)

地方獣医師会事務局 御中

公益社団法人日本獣医師会事務局

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課から情報提供がありましたのでお送りします。

このたびの通知は、10月23日に第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会が開催され、多くの人が休暇を取ることが予想される年末年始に向けて政府に対し提言された「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」の内容について、適切な履行に取り組むよう周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

年末年始に関する分科会から政府への提言 令和2年10月23日(金)

新型コロナウイルス感染症対策分科会

年末年始に関する分科会から政府への提言

第12回新型コロナウイルス
感染症対策分科会

年末年始には、多くの人が連続した休暇を取ることが予想される。年末年始に感染を拡大させないために、分科会から政府に対して以下のことを提言させて頂きたい。

1. 政府におかれては、今年の年末年始には、集中しがちな休暇を分散させるために、年末年始の休暇に加えて、その前後でまとまった休暇を取得することを職員に奨励して頂く範を示してもらいたい。
2. 1で述べた趣旨は働き方改革に資するものであり、新たな働き方を創造する意味からも、新型コロナウイルス感染症を契機として、今まで以上に強いリーダーシップを発揮して本提言を実現して頂きたい。
3. 政府におかれては、経済団体、地方公共団体等に対して、政府と同様に分散して休暇を取得することを呼び掛けて頂きたい。
4. 政府におかれては、民間企業とも連携し、「小規模分散型旅行」を推進するなど、GO TOキャンペーン各事業の運用の在り方を含めて、年末年始の人の流れが分散するよう努めて頂きたい。
5. さらに年末年始は飲酒や会食の機会が増えることから、政府におかれては、本分科会から提言した「感染リスクが高まる5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」をあわせて国民・社会に幅広く伝わるよう発信して頂きたい。

分科会から政府への提言

感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」

令和2年10月23日（金）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

「5つの場面」に関する分科会から政府への提言

第12回新型コロナウイルス
感染症対策分科会

緊急事態宣言を解除後、ほぼ半年が経過しようとしている。今冬をしっかりと乗り越えるためには、これまでの対策について評価することが必要である。

新型コロナウイルス感染症は、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的であると考えられる。本感染症の伝播は、主にクラスターを介して拡大することから、今冬に備えるためには、クラスター連鎖をしっかりと抑えることが必須である。

9月25日の分科会では感染リスクを高めやすい「7つの場面」を示した。その後、各自治体とのヒアリングなどを通してクラスターの分析がさらに進んだことから、今回、「5つの場面」に整理し、提示することにした。

さらに、飲酒を伴う会食においてクラスターの発生が多く見られていることから、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を取りまとめた。

政府においては、「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を、国民・社会に幅広く伝えるよう発信して頂きたい。

「5つの場面」に関する分科会から政府への提言

第12回新型コロナウイルス
感染症対策分科会

感染リスクが高まる「5つの場面」

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

【場面2】 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】 マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

【場面4】 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

【場面5】 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

2

「5つの場面」に関する分科会から政府への提言

第12回新型コロナウイルス
感染症対策分科会

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
②なるべく普段一緒にいる人と、
③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・会話する時はなるべくマスク着用。（フェイスシールド・マウスシールド^{※1}はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要^{※2}。）
※1 フェイスシールドはもともマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マスクシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
※2 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン[★]を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン[★]の遵守を。
（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。）
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、
接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける。

【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客（100名超）からの感染者は出なかった。

3

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほろ酔いでは、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、壁カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



4

(参考) 7月以降のクラスター等の発生状況の推移

分類(件)	7月	8月	9月	10月 ※10月21日時点で公表されている件数
接待を伴う飲食店	47	41	23	17
会食	37	37	21	19
職場	86	100	80	55
学校・教育施設等	42	80	44	25
医療・福祉施設等	56	194	79	46
その他	53	71	68	31
総計	321	523	315	193

* 報道等情報を元に内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室において作成。

農 政 第 5 8 5 号

令和 2 年 11 月 20 日

(公社) 埼玉県獣医師会

会長 高橋三男様

埼玉県農林部長 強瀬 道男 (公印省略)

年末年始の行事等における感染防止策のお願い

本県農林行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第31回埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議(11月19日開催)において、別添のとおり、知事から県民の皆さまへ、年末年始の行事等における感染防止策の実施についてお願いすることといたしました。

つきましては、御了知の上、関係者への周知に御協力いただきますようお願い申し上げます。

(参考)

埼玉県HP

- ・ 年末年始の行事等における感染防止策のお願い

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/newyearsholidays.html>

- ・ 年末年始における各行事やイベントごとの感染防止策

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/newyearholidays_details.html

※別添省略

上記(参考)の「年末年始の行事等における感染防止対策のお願い」の内容は以下のとおりです。

- ・ 3密(密閉、密集、密接)の回避を
- ・ マスク着用、手洗い、手指消毒など基本的な感染防止対策の徹底を
- ・ 冬こそ室内の換気と一定湿度の確保を
- ・ 国の接触確認アプリと埼玉県LINEコロナお知らせシステムのダブル活用を
- ・ お出かけの際は、できるかぎり人混みを避け、発熱等の症状がある場合は控えて
- ・ 旅行は時期を分散し、大晦日や正月三が日は、できれば家でゆっくりお楽しみを
- ・ 事業者の皆さまは、従業員の皆さんの休暇分散取得に御協力を

令和 2 年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和 2 年11月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月19日(金) ～21日(日)	第100回日本獣医麻酔外科学会/第112回日本獣医循環器学会/第67回日本獣医画像診断学会 2020春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)→中止		
7 月23日 (木・祝)		東支部 「乳腺腫瘍」 日本小動物医療センター 小林 哲也 先生 病理組織検査ノースラボ 賀川 由美子 先生 (越谷市 越谷サンシティ)→中止	
8 月			
9 月 6 日(日)	令和 2 年度 関東・東京合同地区獣医師大会(栃木)獣医学術関東・東京合同地区学会 (宇都宮市 栃木県総合文化センター)→1年延期		
9 月27日(日)	埼玉県獣医師会主催学術講習会(Web講習会) 「犬の消化器疾患と食事管理」/東京大学 大野 耕一 先生 「犬猫の心因性食欲不振及びFIC」/米国獣医行動学専門医(ACVB) 入交 眞巳 先生 【YouTubeにて開催】		
10月18日(日)		東支部 「整形外科～膝蓋骨って何者？手術適応 は？術式は？」 東京大学付属動物医療センター 本阿彌 宗紀 先生 【Zoomにて開催】	
11月			
12月 6 日(日)		西支部 「演題 未定」 東京大学 大野 耕一 先生 【Zoomにて開催予定】	
12月 6 日(日)		東支部 「画像診断(未定)」 日本小動物医療センター 戸島 篤史 先生 (越谷市 越谷サンシティ)→中止	
令和 3 年 1 月17日(日)		南支部 「演題 未定」 日本小動物医療センター 小林 哲也 先生 (場所 未定)	
1 月22日(金) ～24日(日)	令和 2 年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(兵庫) (神戸国際会議場・展示場)→中止		
1 月	農林支部 令和 2 年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会		
2 月11日 (木・祝)		北支部 「画像診断(未定)」 日本小動物医療センター 戸島 篤史 先生 (場所 未定)	
2 月28日(日)		西支部 「演題 未定」 日本小動物医療センター 小野 啓 先生 (場所 未定)	
2 月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3 月21日(日)		西支部 「演題 未定」 日本獣医生命科学 宮川 優一 先生 (Web方式で開催)	

日本獣医師会顧問酒井健夫先生「瑞宝重光章」受章

11月3日に発表された秋の叙勲において、日本獣医師会顧問で前副会長の酒井健夫先生が瑞宝重光章を受賞されました。

酒井先生は、日本大学農獣医学部教授から学部長を経て、平成20年から3年間、日本大学総長を務められました。日本獣医師会では副会長を務められ、現在は顧問としてご活躍いただいています。当会にも多くの教え子がおられますことはもとより、疾病予防学の専門家として集合狂犬病予防注射実施者講習会の講師を快くお引き受けいただくなど当会とは深いかかわりのある先生です。全国で僅か36名という大変荣誉あるこの度の受賞まことにおめでとうございます。



平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会で講演をさせていただく日本獣医師会酒井健夫副会長(当時)

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- | | | | |
|------------|--|-----------|---|
| 10月18日 | 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ) → Web開催 | 令和3年 | |
| 10月26日 | 埼玉県農林水産業振興基本計画策定に係る意見交換会(さいたま市 埼玉教育会館) | 1月17日 | 南支部学術講習会(場所未定) |
| 10月26日 | 埼玉県家畜保健衛生所機能強化検討会議(さいたま市 埼玉会館) | 1月22日～24日 | 令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神戸市 神戸国際会議場・展示場) → 開催中止 |
| 10月28日 | 第4回理事会(さいたま市 清水園) | 1月29日 | 家畜保健衛生業績発表会(さいたま市 中央家畜保健衛生所) |
| 10月29日 | 埼玉県特定家畜伝染病防疫演習(伊奈町 県民活動総合センター) | 2月11日 | 北支部学術講習会(場所未定) |
| 11月4日 | 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会(さいたま市 浦和競馬組合) | 2月28日 | 西支部学術講習会(場所未定) |
| 11月9日 | 第64回埼玉県公衆衛生大会(さいたま市 埼玉会館) | 3月21日 | 西支部学術講習会(場所未定) |
| 11月21日～22日 | 2020彩の国食と農林業ドリームフェスタ(草加市 まつばら綾瀬川公園) → 開催中止 | | |
| 12月6日 | 西支部学術講習会(場所未定) | | |
| 12月6日 | 東支部学術講習会(場所未定) → 開催中止 | | |
| 12月8日 | 馬防疫技術講習会(熊谷市 ホテルヘリテイジ) | | |

編集後記

早いもので今年もうカレンダー1枚を残すだけになってしまった。コロナのお陰で月日が過ぎるのが特に早く感じる。益々寒くなってきてインフルエンザも流行し始める季節となり、コロナも第三波が押し寄せて来てしまった。一年の計を語るには少し早いですが、今年になって全世界を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症が大きな出来事として100年経っても語り継がれてゆくことになるであろう。

アメリカのFDAから治療薬のリレンザが承認され、我々になじみの深いファイザー製薬(動薬はゾエティスジャパン)やモデルナからもワクチンの効果が90%以上あり臨床試験も最終段階に入ったとの嬉しいニュースが流れた。承認するまでに臨床試験に十分な時間をかけて安全で有効性の高い薬を市場に出して欲しいものです。

アメリカの大統領選挙でのトランプVSバイデン候補の討論会には世界中が驚かされた。結果はコロナの危険性を説き、人種差別を批判していたバイデン氏の勝利だった。当然だと思ふ「経済より命や健康が大切である」という結論だった。

豚熱に感染した野生イノシシが群馬、栃木から東北地方の福島県にも広がっているそうだ。現在埼玉県や他の県でも家畜保健衛生所の先生やOBの方々がワクチン接種にご尽力されておりますが、20数年前に豚コレラフリー宣言をした時の豚丹毒ワクチンと豚コレラワクチンの混合ワクチンは市場に出せないものなのでしょうか？豚のストレスと養豚家の負担と獣医師の労力を考えると何とかならないものだろうか？そして、9月に「清浄国」の認定を13年ぶりに失った報を見た。当然だ！なぜもっと早くワクチン接種を開始しなかったのか？無駄に多くの豚の処分をしなくて済んだはずだ。悔やめてならない。

家畜の窃盗が相次いたが、外国人の窃盗団の一部が捕まった、良かった。昔の農家は家畜を

数頭ずつ飼っていたので数は把握されていたので盗まれるとすぐに警察に連絡された。現在では大規模飼育となり、特に今の子豚用の豚舎は窓も無いので把握しにくい。犯人は畜産農家で働いていたコロナで生活に困窮した外国人の仕業だった。一部の報道であるが、仲間で食べていた様だ。友人のコメ農家では20袋近く盗難にあった。こちらも外国人が働いていた家であった。特に養豚の様な3Kの仕事はなかなか働き手がなくて、労働力を外国人に頼るのは仕方ないのだが、安易に入れ過ぎた弊害ではないか？勝手は違うが大規模の酪農家が使っている搾乳ロボットのように、機械で飼育を支援するシステムの開発は出来ないものだろうか？

社会全体がテレワークやweb会議、web講義になり人の動きが止まっていることにより、交通機関や様々な企業が窮地に追い込まれております。先日開催された理事会ではweb会議やweb講習会を積極的に活用して行くことが協議されました。今後、本会でも支部でもコロナが落ち着くまで会議や講習会などwebを活用せざるを得なくなるでしょう。

今年も狂犬病集合注射実地者講習会が開催される予定でありましたが、理事会において講習会の開催方法について協議され、その結果をもとにした狂犬病予防委員会の書面協議により、今年度は狂犬病研究会による世界の狂犬病発生状況や、最新の診断基準などの資料を配布して皆さんによく読んで頂いて講習会の開催に代えるという事になります。

また、集合注射の希望辞退届を毎年班長さん経由で提出して頂いておりますが、今回は資料とともに用紙を送付します。皆様にご協力頂きたいところですが、コロナの関係で辞退されたい方は辞退として提出してください。

今年も残すところ1ヶ月少々です。マスク、手洗い、うがい、SocialDistance、そして換気を守って元気に新年を迎えられる準備をしましょう。(不動)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

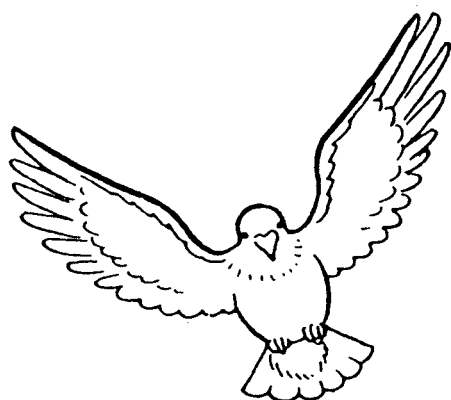
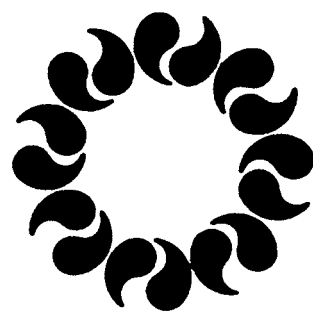
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

